



新潟県

新潟県地すべり防止工事士会 上越支部 研修会

令和7年度 新潟県の砂防行政について

令和7年7月17日
新潟県土木部砂防課

説明内容

- 1 土砂災害の発生状況
- 2 砂防関係施設の整備方針
- 3 砂防関係事業費の推移・整備率
- 4 砂防関係事業の予算
- 5 令和6・7年の災害関連緊急地すべり対策事業
- 6 工事報告

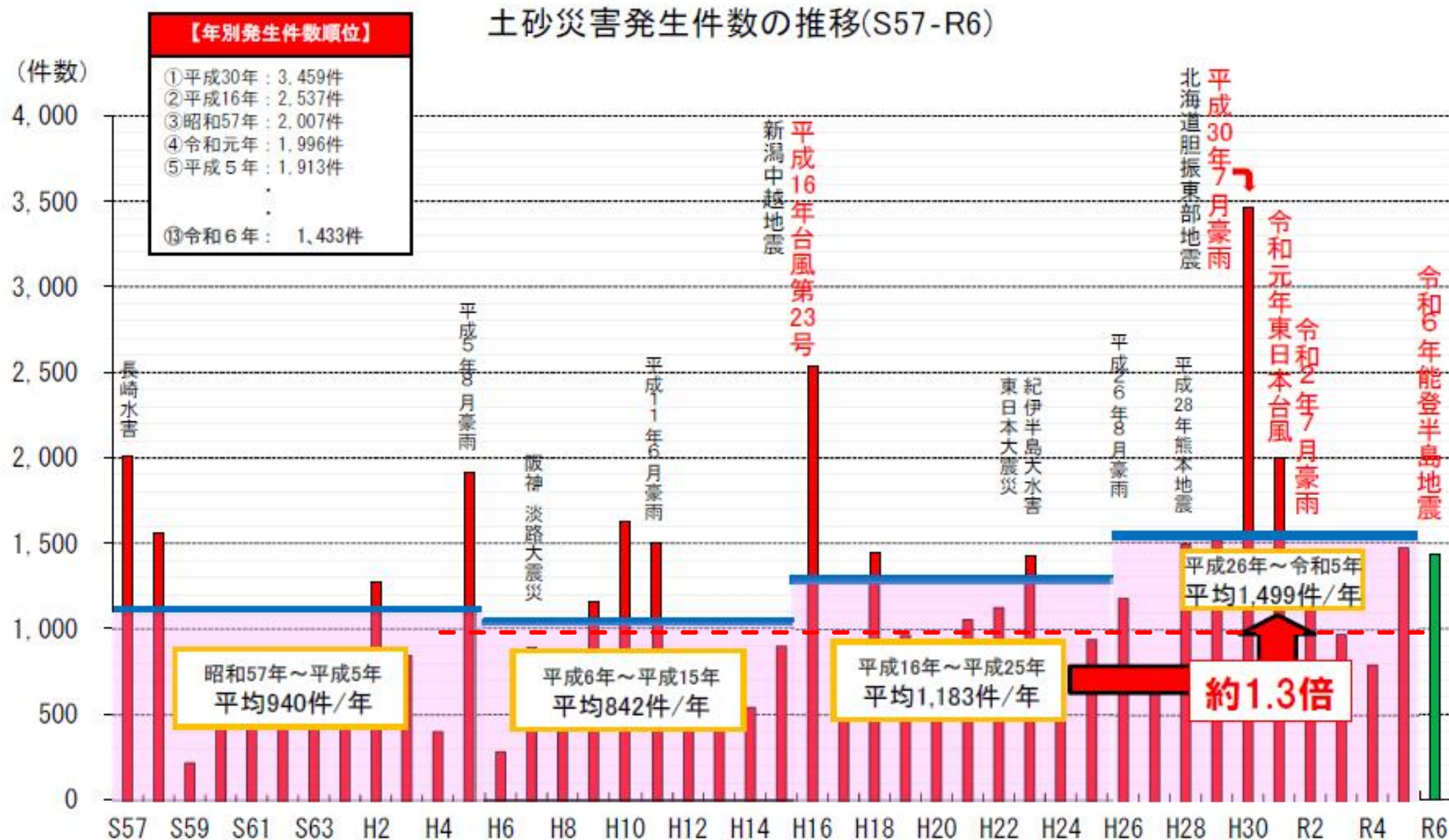
1 土砂災害の発生状況 (1/3)

国土交通省HPより

土砂災害発生件数の推移(S57~R6)



■令和6年1月から12月の1年間に発生した土砂災害は1,433件であった。土砂災害は45道府県で発生した。



1 土砂災害の発生状況 (2/3)

国土交通省HPより

令和6年 全国の土砂災害発生状況



土砂災害発生件数

1,433件

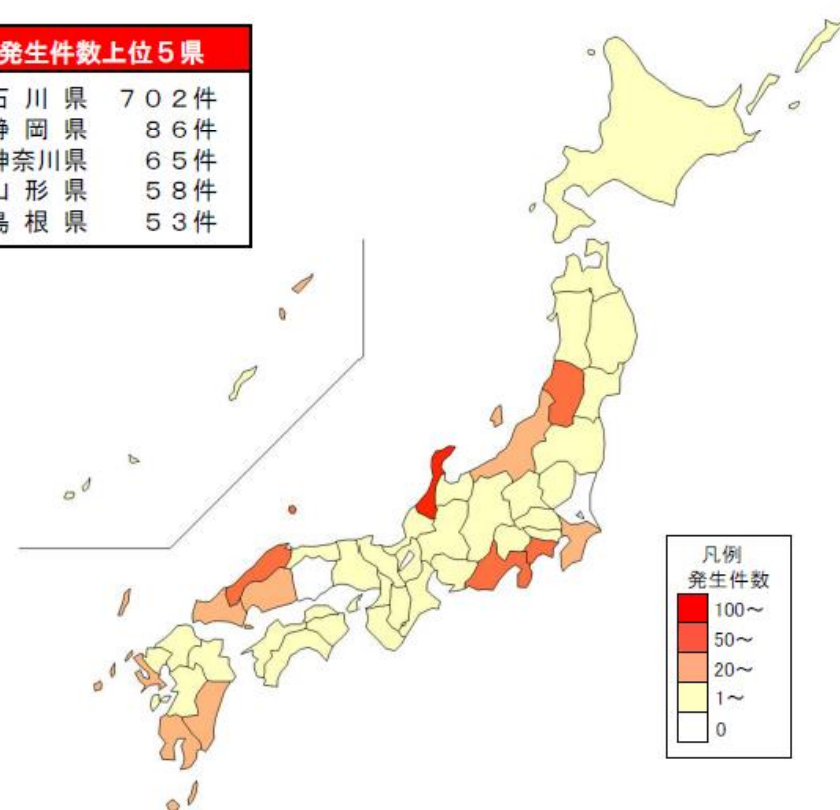
土石流等： 155件
地すべり： 204件
がけ崩れ： 1,074件

【被害状況】

人的被害：死者 56名
行方不明者 2名
負傷者 11名
家屋被害：全壊 214戸
半壊 174戸
一部損壊 317戸

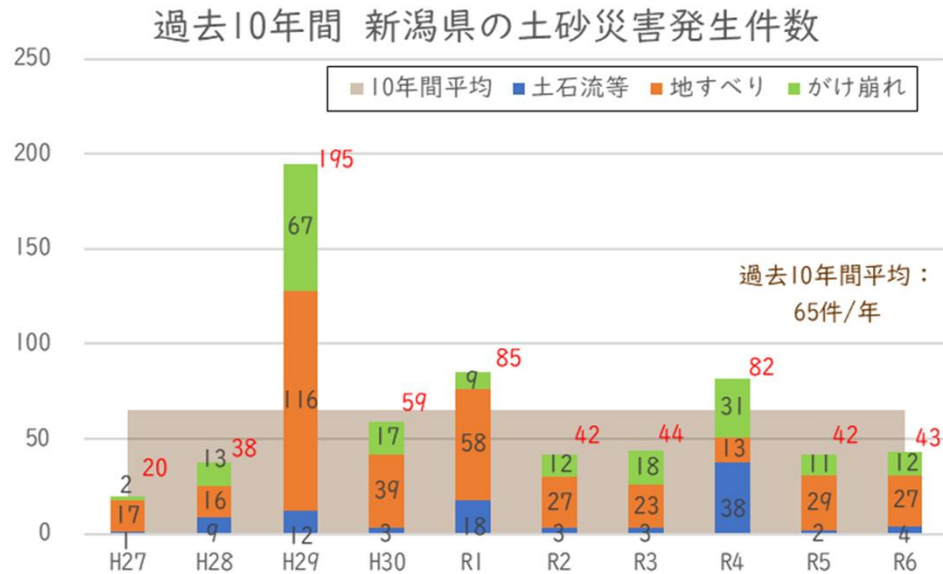


発生件数上位5県	
石川県	702件
静岡県	86件
神奈川県	65件
山形県	58件
島根県	53件

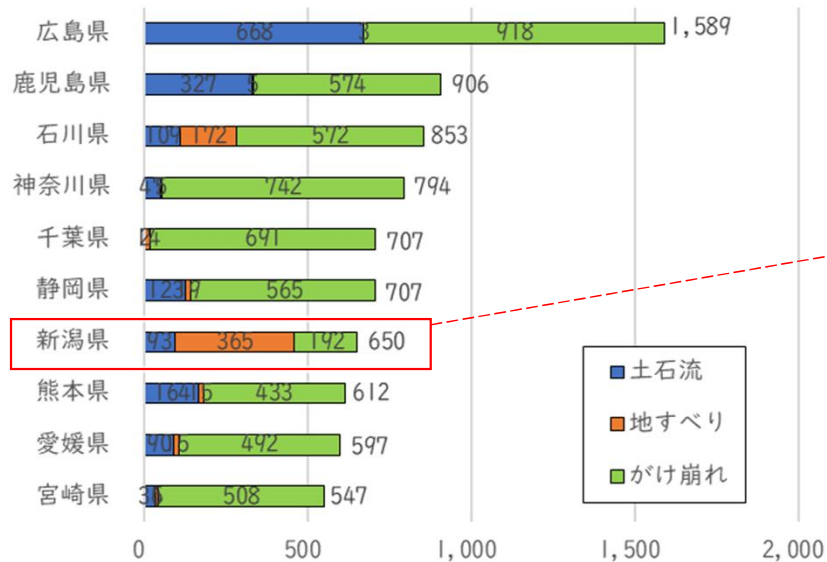


1 土砂災害の発生状況 (3/3)

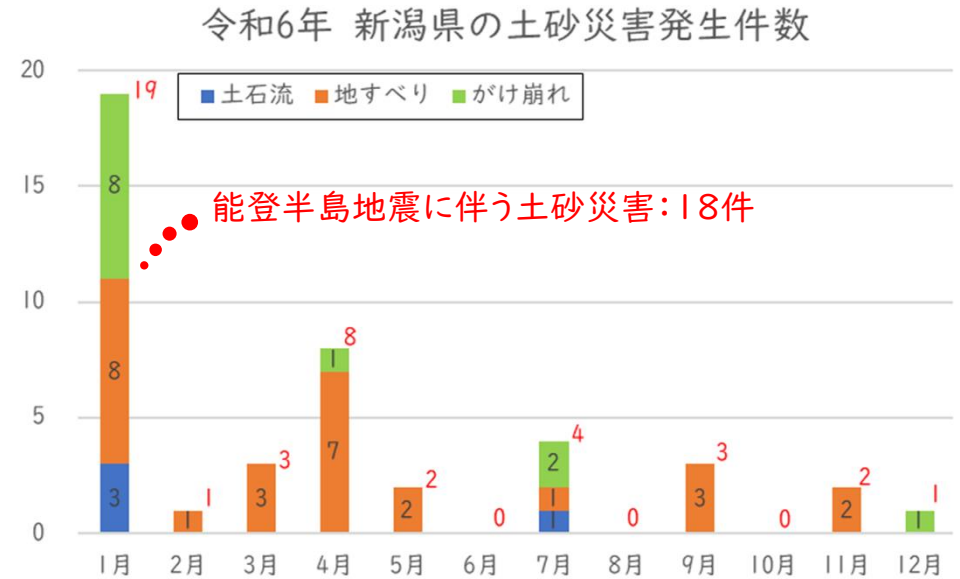
過去10年間の土砂災害発生件数



過去10年間 土砂災害発生件数上位10県

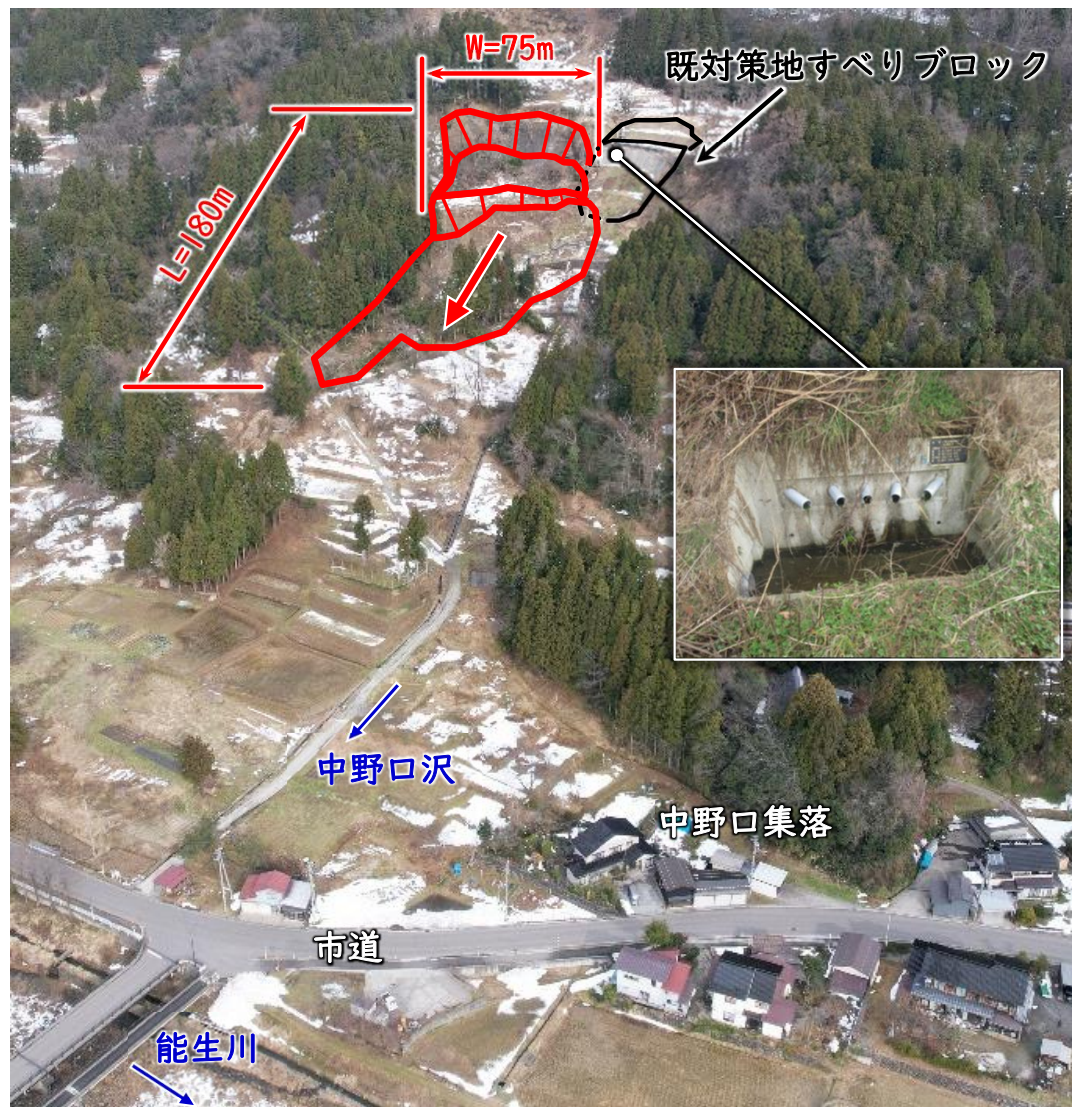


令和6年の土砂災害発生件数



種別	発生件数	全国順位
土石流	93件	11位
地すべり	365件	1位
がけ崩れ	191件	21位
合計	650件	7位

1 土砂災害の発生状況（施設効果）

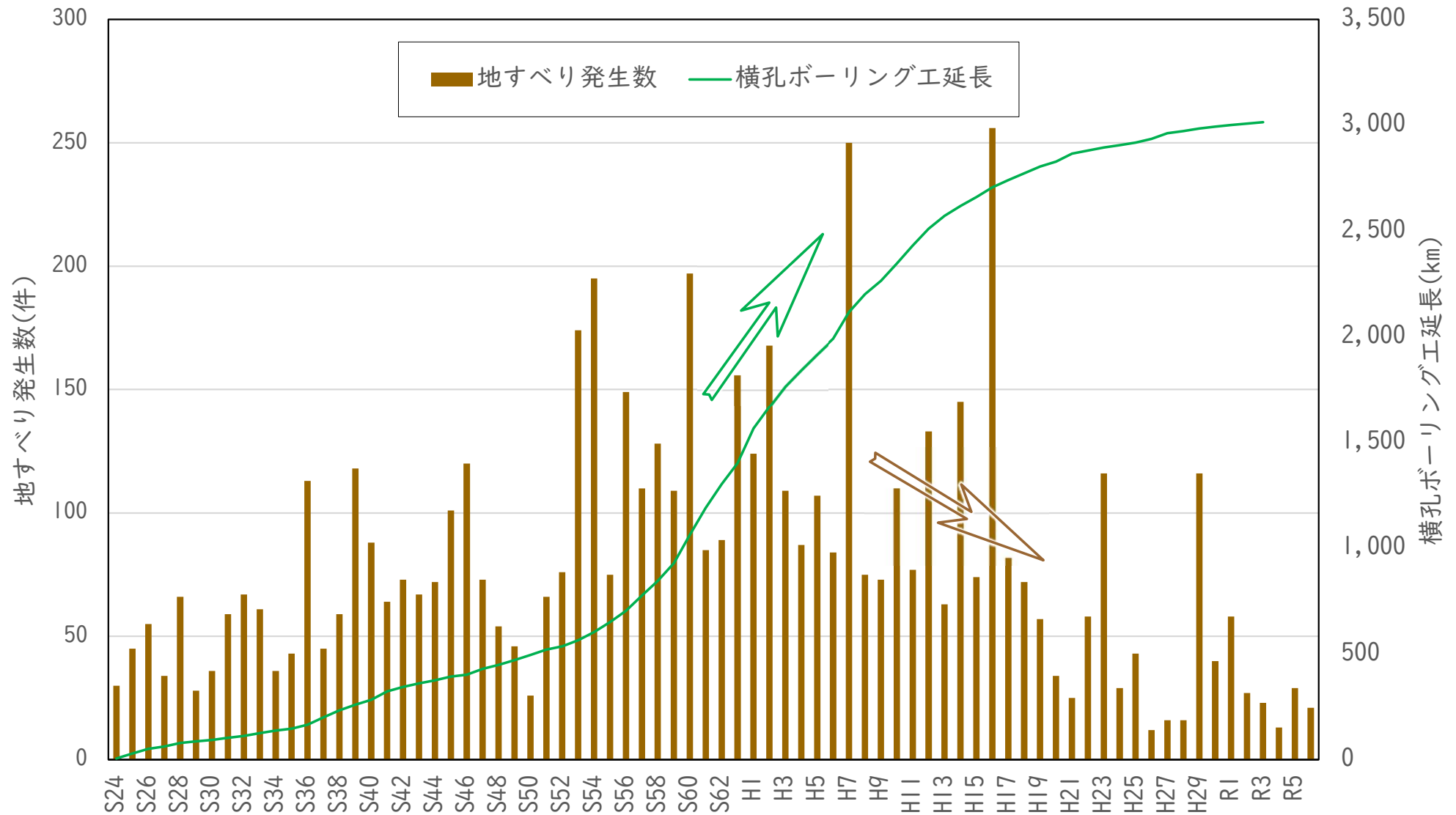


令和6年1月1日発生
系魚川市大字中野口地内



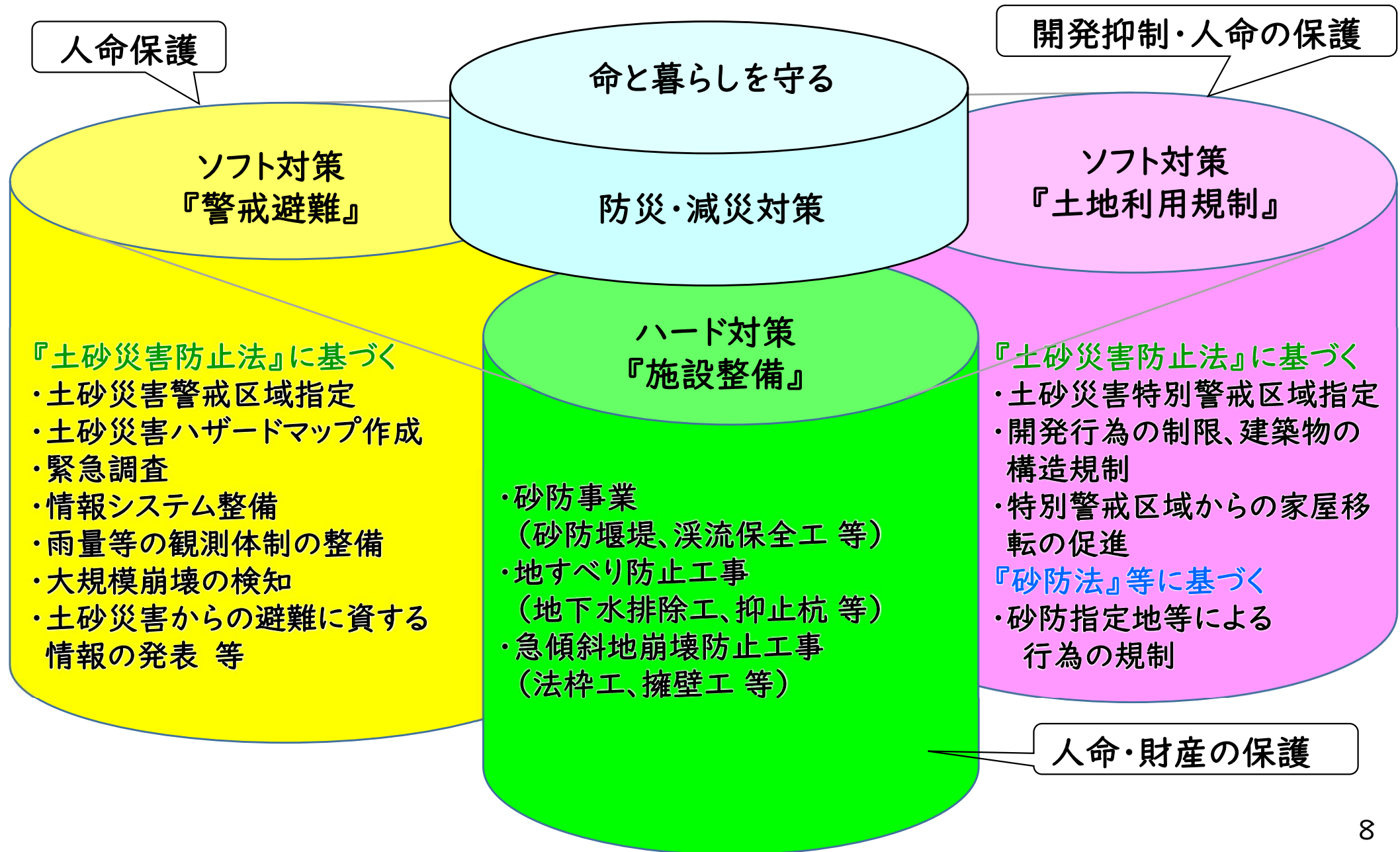
1 土砂災害の発生状況（施設効果）

地すべり発生数と対策工施工推移



2 砂防関係施設の整備方針（1/2）

県民の命と暮らしを守る防災・減災対策の推進



2 砂防関係施設の整備方針（2/2）

本県における土砂災害警戒区域約14千箇所のうち、人家5戸以上・人家4戸以下の区域のうち整備中または整備済の区域における整備率は20～40%代と低い。

計画的かつ効率的に施設整備するため、下記整備方針により**命と暮らしを守る**砂防関係事業を実施する。

○ 重要な保全対象がある箇所

- ・多くの人家や重要な公共施設（基礎的・基幹的インフラ施設）
- ・自力での避難が困難な要配慮者利用施設
- ・地域防災計画に示されている避難所

○ 災害フォロー箇所

- ・近年に土砂災害が発生し、引き続き対策が必要な箇所

○ 災害の危険性が高い箇所

- ・土砂災害発生の兆候があり、地質・地形・湧水などの状況から
- ・土砂災害の発生の危険性が高い箇所

砂防メンテナンス事業を活用し、計画的に施設の老朽化対策を実施する。

①維持管理計画の策定

- ・砂防設備、急傾斜地崩壊防止施設：平成29年度完了
 - ・地すべり防止施設、雪崩対策施設：平成30年度完了
- ➡ 新潟県土木部社会資本維持管理計画
令和4年3月改定

②補修・改築・更新の実施

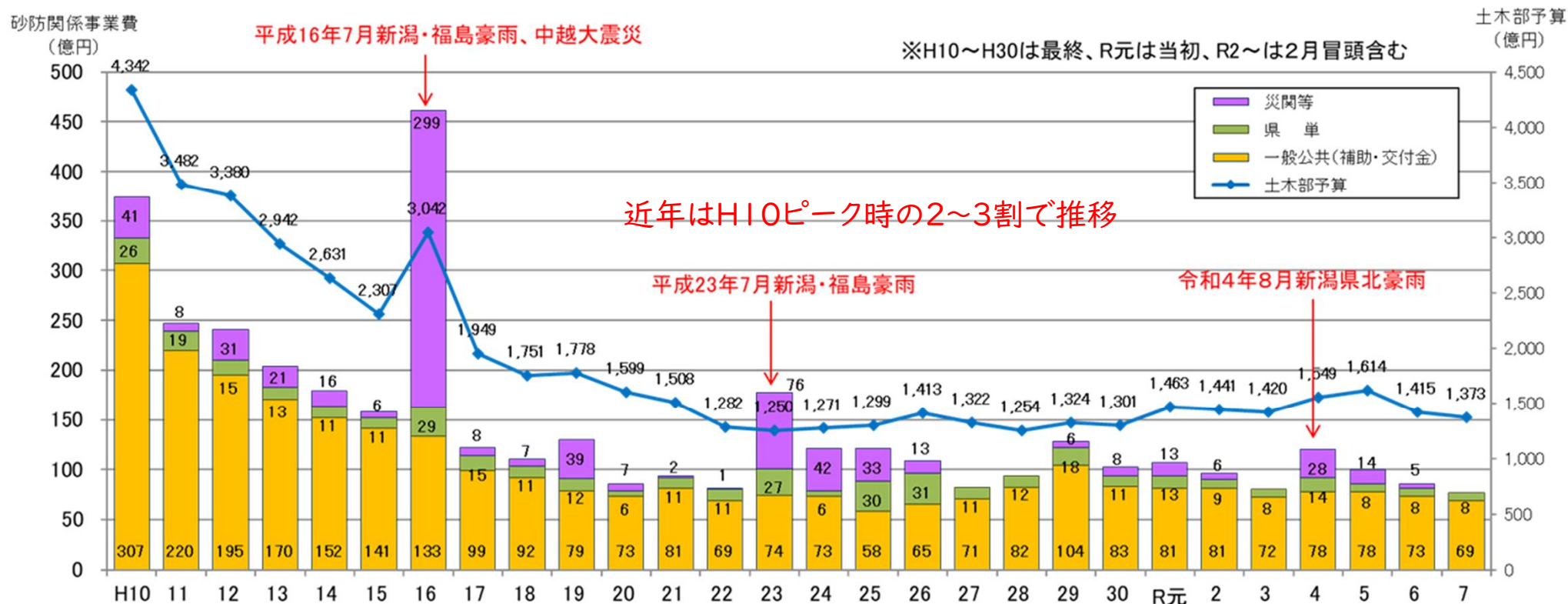
- ・砂防メンテナンス事業を活用し、新潟県土木部社会資本維持管理計画に位置付けた目標（令和7年度までに、健全度C施設のうち、社会的影響度の高い施設（要緊急対策施設）※109施設の対策に着手）の達成に向け取り組む。

※社会的影響度の高い施設（要緊急対策施設）

- ・人家10戸以上を保全している施設
- ・重要な交通網を保全している施設（重要交通網、緊急輸送道路、重要物流道路など）
- ・常時流水等の影響を受け劣化が著しく進行している（するおそれのある）施設
- ・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に存する施設

3 砂防関係事業費の推移・整備率

砂防関係事業費の推移



土砂災害警戒区域等の整備率(令和6年度末時点)

	土砂災害警戒区域 (土石流)	土砂災害警戒区域 (地滑り)	土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	雪崩危険箇所
新潟県の整備率	26.4%	42.6%	24.0%	7.1%
備考	治山・農地所管分除く 集計対象は、土砂災害警戒区域のうち ・人家5戸以上の区域 ・人家4戸以下の区域のうち、整備中または整備済みの区域			保全人家5戸以上

4 砂防関係事業の予算

起債による交付税措置率の高い5か年加速化枠を最大限に活用し必要な事業費を確保

・5か年加速化枠(R2補正～)は、全て補正予算で措置

・R7年度事業費の約6割が補正予算

交付金・補助事業の予算と箇所数 (単位：百万円)

上段：砂防メンテナンス

下段：全体(砂防メンテナンス含む)

事業名	R6			R7			対前年比 [B/A]	R7箇所数	内新規 箇所数
	R5補正	R6当初	計 [A]	R6補正	R7当初	計 [B]			
砂防事業	416	28	444	356	239	595	1.34	13	1
	1,766	1,716	3,482	2,042	1,218	3,260	0.94	79	9
地すべり事業	620	27	647	420	150	570	0.88	14	3
	1,800	482	2,282	1,520	623	2,143	0.94	77	5
急傾斜地崩壊対策事業	190	12	202	130	36	166	0.82	6	2
	783	128	911	747	104	851	0.93	20	3
雪崩対策事業	0	0	0	0	0	0	—	0	0
	0	250	250	0	225	225	0.90	4	0
ソフト対策事業等	0	0	0	0	0	0	—		
	0	176	176	40	195	235	1.34		
【合計】	1,226	67	1,293	906	425	1,331	1.03	33	6
	4,349	2,752	7,101	4,349	2,365	6,714	0.95	180	17

※1：国内示予算ベース（事務費、工雑抜き）

※2：新規箇所数は補正新規箇所を含む

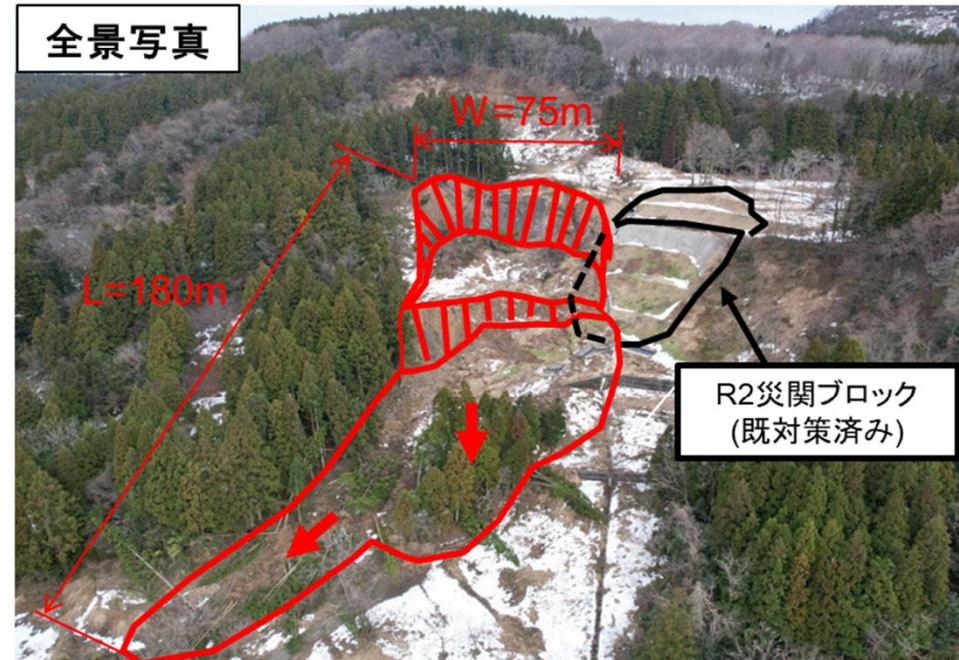
5 令和6・7年の災害関連緊急地すべり対策事業 (1/3)

いとしかわし
令和6年1月1日に新潟県糸魚川市で発生した土砂災害に対して
緊急的な地すべり対策事業を実施します

新潟県 砂防課

令和6年1月1日に発生した地すべりに対して、新潟県が緊急的な対策事業を実施します。

なかのくち
●中野口地区 災害関連緊急地すべり対策事業(全体事業費:約3.1億円)



【中野口地区】

いとしかわし なかのくち

新潟県糸魚川市大字中野口地内

- ・発生年月日：令和6年1月1日
- ・保全対象：人家、市道 等
- ・崩壊規模：長さ 180m、幅 75m
- ・主な工法：横ボーリング工、土留工等



5 令和6・7年の災害関連緊急地すべり対策事業（2/3）

令和6年4月13日に新潟県糸魚川市で発生した土砂災害に対して **災害関連緊急地すべり対策事業を実施します**

新潟県 砂防課

令和6年4月13日に発生した地すべりに対して、新潟県が緊急的な対策事業を実施します。

●大所地区（全体事業費：約483百万円（4月24日採択の部分申請約62百万円を含む））

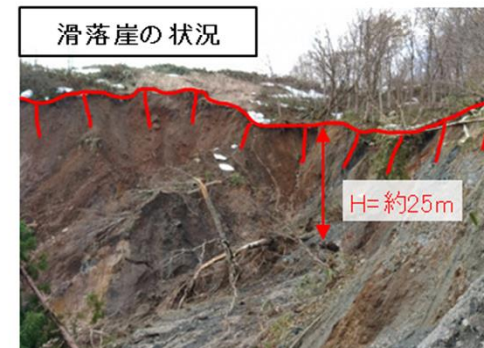


【大所地区】

いといがわし おおどころ

新潟県糸魚川市大字大所地内

- ・発生年月日：令和6年4月13日
- ・保全対象：県道、河川等
- ・崩壊規模：長さ210m、幅90m
- ・主な工法：横ボーリング工、土留工等
(4月24日採択の部分申請)
- ・主な工法：大型土のう設置等



5 令和6・7年の災害関連緊急地すべり対策事業 (3/3)

令和7年4月15日に新潟県妙高市で発生した土砂災害に対して
災害関連緊急地すべり対策事業を実施します

新潟県 砂防課

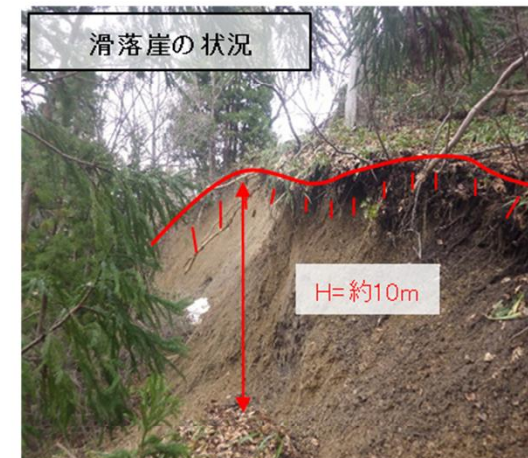
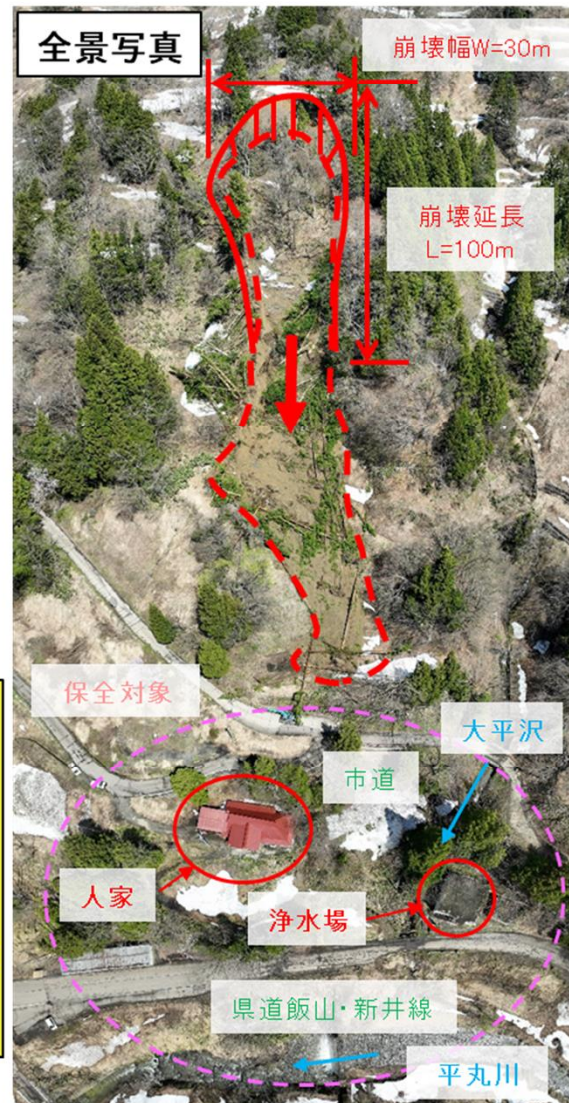
●^{ひらまる}平丸地区(全体事業費:約203百万円(4月24日採択の部分申請約58百万円を含む))



【平丸地区】

新潟県妙高市大字上平丸地内

- ・発生年月日: 令和7年4月15日
- ・保全対象: 県道、人家 等
- ・崩壊規模: 長さ100m、幅30m
- ・主な工法: 横ボーリング工、土留工 等
(4月24日採択の部分申請)
- ・主な工法: 大型土のう設置 等



6 工事報告～広田地区(R5災関地すべり)～

【広田地区】

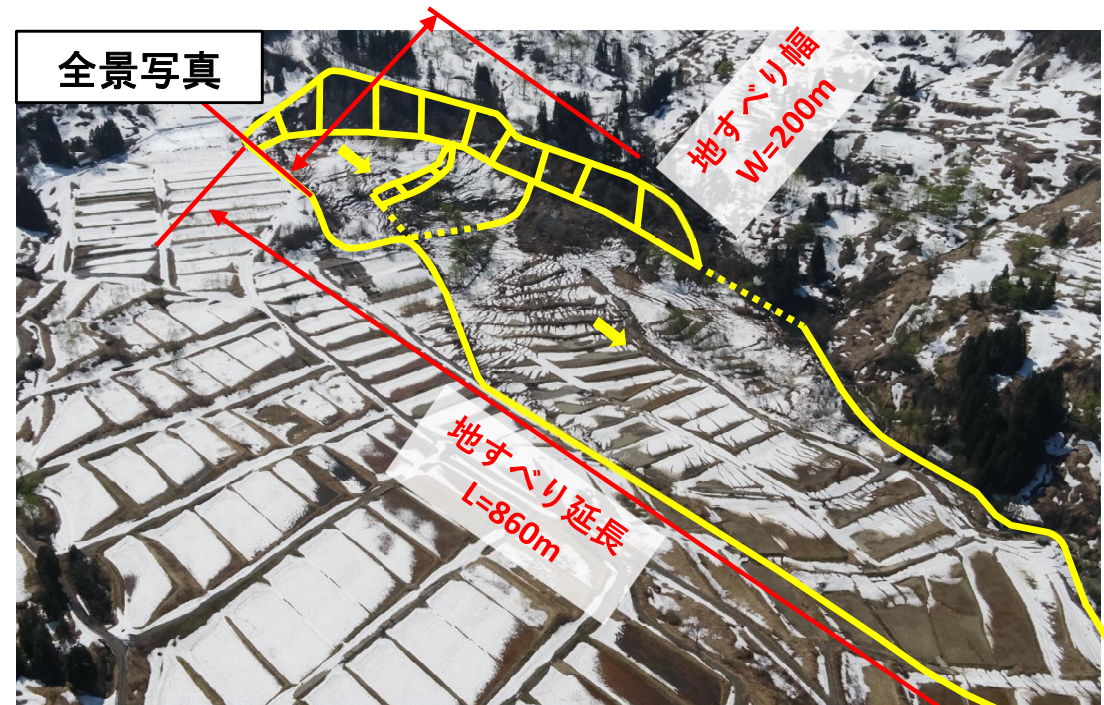
新潟県系魚川市大字北山地内

・発生年月日：令和5年4月1日

・保全対象：人家、水力発電所等

・崩壊規模：長さ860m、幅200m

・主な工法：集水井工、水路工、
横孔ボーリング工等



位置図

新潟県

広田地区



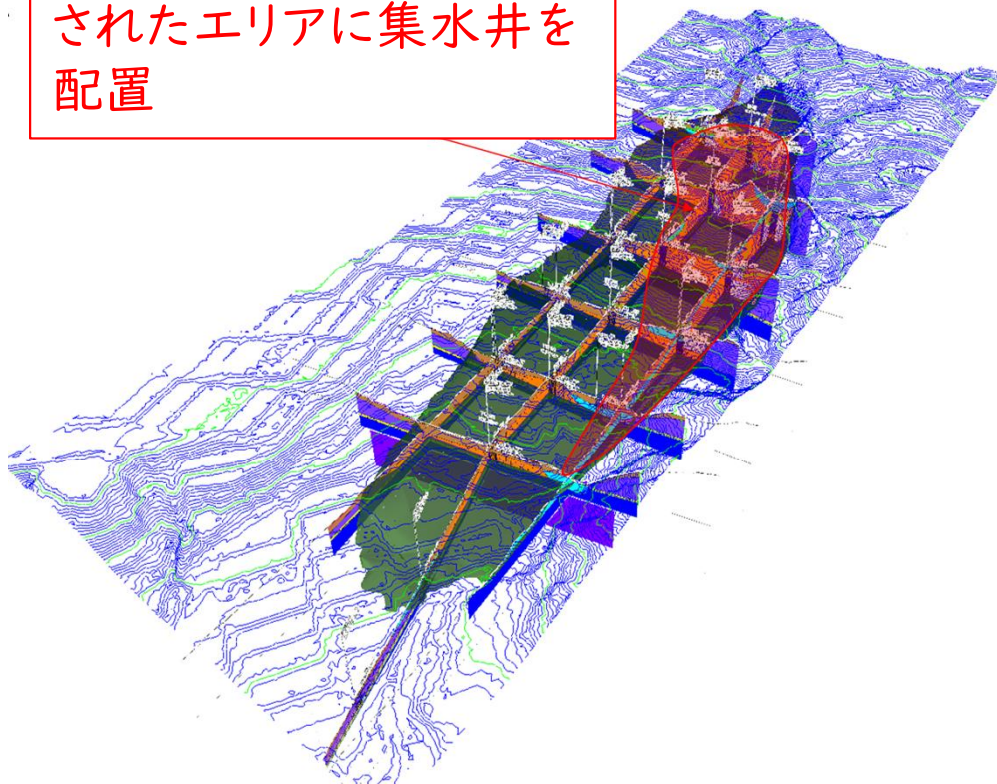
6 工事報告～広田地区(R5災関地すべり)～

完成写真：令和4年11月末撮影

BIM/CIMを活用



地下水賦存量が多く、深層地下水の浸入が確認されたエリアに集水井を配置



○ 集水井工

6 工事報告～阿賀花立地区(R5災関地すべり)～

【阿賀花立地区】

新潟県東蒲原郡阿賀町花立地内

- ・発生年月日:令和5年4月11日
- ・保全対象 :人家、町道 等
- ・崩壊規模 :長さ65m、幅56m
- ・主な工法 :横孔ボーリング工、アンカー工 等

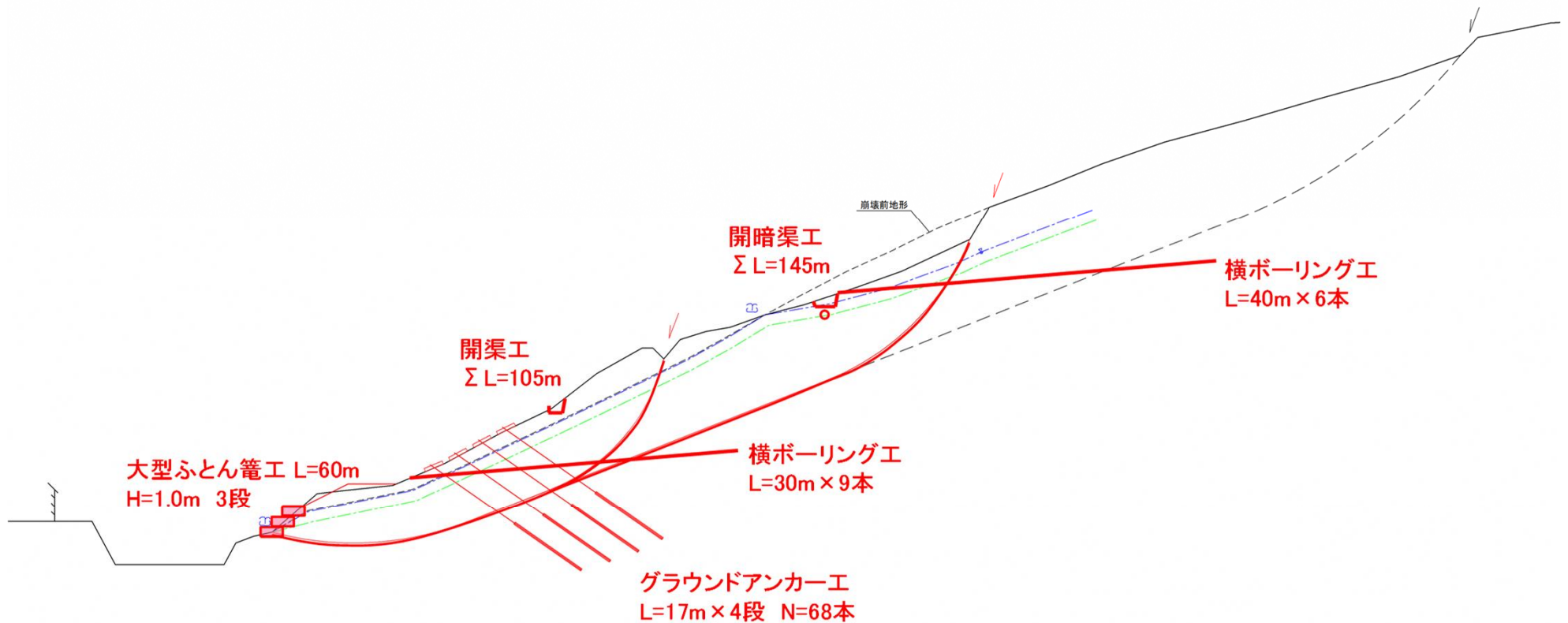


6 工事報告～阿賀花立地区(R5災関地すべり)～

当初計画

想定地すべり深さ: $56\text{m}(\text{地すべり幅}) \times 1/7(\text{平均値}) = 8.0\text{m}$

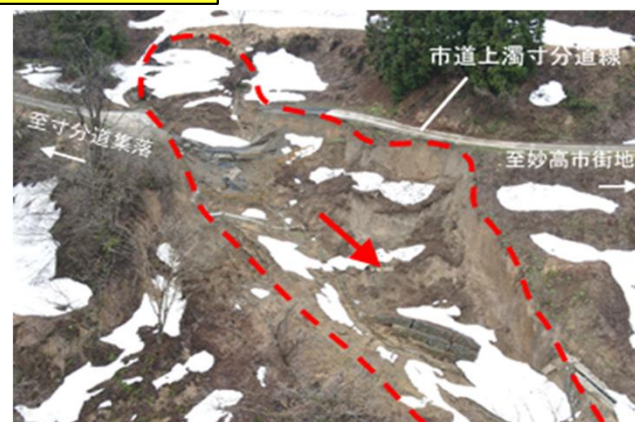
当初は、アンカー工で対応可能と考えていた。



6 工事報告～寸分道地区(R4災・地すべり災害復旧)～

【寸分道地区】

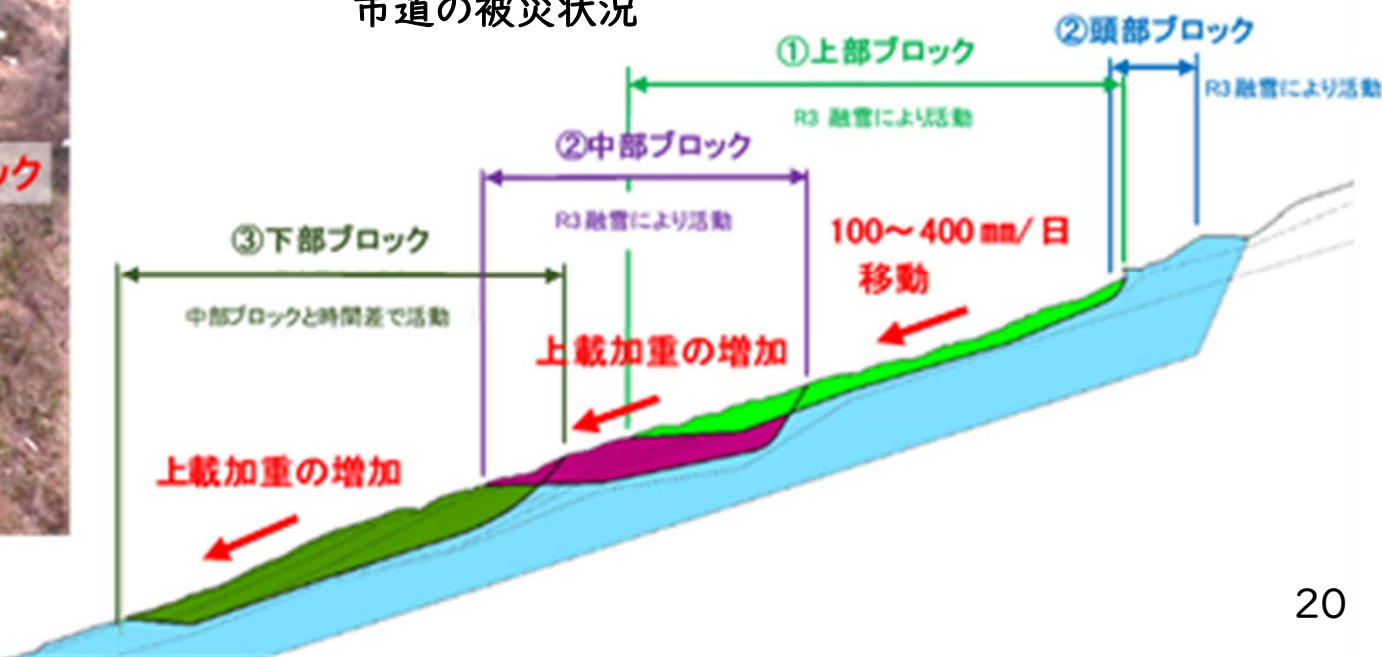
- 新潟県妙高市大字下平丸地内
- ・崩壊規模：長さ280m、幅60m
- ・被災年月日：令和3年4月5日～令和4年10月20日
- ・公共土木施設被害：横ボーリング工 8群、水路工 L=398m
土留工 N=2基、市道上濁川寸分道線がL=0.1kmが寸断



市道の被災状況



横ボーリング工の被災状況



6 工事報告～寸分道地区(R4災・地すべり災害復旧)～

施工状況

着手前
(令和3年4月16日撮影)



- 凡例
- 横孔ボーリング
 - 杭工(鋼管杭)

施工中
(R6年4月10日撮影)



R5施工
横孔ボーリング(13群) L=1,961m

完成
(R6年10月18日撮影)



R6施工
杭工(鋼管杭) N=42本
水路工 L=553m